



あなたのそばに

2020年9月 教会行事予定表

曜	午前	午後
1 火		
2 水		
3 木		入門講座 18:00
4 金		
5 土	ミサ10:00 掃除当番 (蘭岳)	
6 日	ミサ9:30 (蘭岳地区参加) 運営委員会 (ミサ後) 敬老の日の祝福	
7 月		
8 火		
9 水		
10 木		入門講座 18:00
11 金		
12 土	ミサ10:00 掃除当番 (蘭岳)	
13 日	集会祭儀9:30 (太平洋地区参加)	
14 月		
15 火		
16 水		
17 木		入門講座 18:00
18 金		
19 土	ミサ10:00 掃除当番 (蘭岳)	
20 日	ミサ9:30 (白鳥地区白鳥)	
21 月		
22 火		
23 水		
24 木		入門講座 18:00
25 金		
26 土	ミサ10:00	
27 日	集会祭儀9:30 (楽山地区参加) ミニ大掃除の日	
28 月		
29 火		
30 水		

気がつきましたか?!

新型コロナウイルス感染に伴う非常事態宣言は解除になりました。けれども東京。札幌といっこうに落ちつく気配がありませんし、感染者が増えつつあります。心配はまだ続きますね。教会も休眠状態ですが、その間に施設の方々が教会に環境整備に尽力してくださいました。

大きくなりすぎた木は、10本以上も伐採しました。それは危険を共なう大仕事でしたが、無事になし遂げました。切った木の始末もまた大変でした。常松さんが伊達から軽トラックを借りてきて、石川町まで何往復もして処理しました。

また、教会を取り囲んでいるイボタの垣根の剪定は、これも大変でした。今は、刈り取った枝を聖堂裏の芝生に置いてありますが、その処理にはみなさんの力を借りると思いますのでよろしくお願いいたします。

日あたりの良くなった教会農園は、今は入り色な野菜が実っていますよ。是非見に来てくださいね。



切り株が沢山



通学路側の垣根もこの通り



バス通側MO綺麗に



今が盛り



すっきりしすぎたかな



イボタを剪定した枝の山

2020

8/9

# ひとつになるう

2020年8月9日 カトリック東室蘭教会広報誌 毎月第2日曜発行

〒050-0073  
室蘭市宮の森町4-9-7  
0143-44-3851

## 私たちの生活、自分自身も変えたWithコロナ



【新型コロナウイルス】竹原 徳男

2月末の緊急事態宣言から約5ヶ月が経過したコロナ禍。当初は高齢者の罹患率が高く「人生ベテラン勢揃い」の教会を心配した。そして宣言解除以降は20~30台の若者に感染が拡大している。子供たちは楽しみにしていた授業が

再開し、毎日検温、手洗い、マスクを継続中だというのに、大人がちゃんとしなければ示しがつかない。「接待するなよ、受けるなよ」「夜に遊んで歩くなよ」「呑むならマスクしながら呑め!」「カラオケは口パクで」と、しかめっ面しながらニュースを見ている。東京・大阪・名古屋など大都市圏内に住む身内のことをことさら心配されるご家族もいらっしゃるに違いない。

いま世界の「全ての物事がコロナを中心にして回っている」という現実の中で、恐ろしい疫病とどう共存を図るか「Withコロナ」の模索が始まっているところだ。旧約聖書サムエル記下24章で、ダビデに怒りを示す神が罪の代償として「7年の飢饉」「3年敵に追われる」「3日の疫病」のどれを選ぶかという3択のシーンがあり、結果疫病によって7万人が死んだと聖書に書いてある。これがどのくらいの数字がといえば、世界のコロナ累計死者数(7/21現在)は63万人(3日で1.3万人!)、感染者となると3日で30万人のペースで、まさに聖書の世界に迫る勢いだ。

(ちなみに「全国から揚げFestival」は3日で来場者55,000人・・・全く余談である)

【私たちの生活、自分自身も変えたWithコロナ】

ステイホームという聞こえはいいが直訳すると「黙って家に居やがれ」の命令形。真面目なステイホーム生活により自分に起きた変化を「減ったもの」「増えたもの」であげるとこうなりました。

(減) 外出、外食、ワイフのパート収入、新聞紙の量(広告が無い)、病院に行く機会、買物、人と会う事、外を歩く子供、あろうことか「お祈り」、などなど。

(増) 体重〇kgと腹囲〇cm、タバコ、酒類、ゴミ(資源ごみのうち発泡酒系のアルミ缶)、光熱費、時間とくに妄想時間。。。あまりほめられたものではありません。みなさんのステイホームの過ごし方はどうでしょう。

一方世間では、外出規制に関わらず交通事故死者数は増加(道内昨年同月比+3人)、そして報道では虐待や家庭内暴力が後を絶たない。子供をマンションの上から落とす、ネグレクトの結果子供の亡骸を庭に埋めたなど、見えないところで何かが起きてしまっていることに心が痛む。虐待が一番行われるのは「家庭内密室」だと言われる。長いステイホームが子供の人権危機にまで影響しているのだろうか。若い親た

ちの子供の人権に対する考え方でコロナに左右され、「コロナ中心」に回っているのか?とは考え過ぎだろうか。

【Withカラス】

今年私たちはコロナでお笑い人気タレントの志村けんさんを失った。志村さんといえば土曜8時に全員集まる番組で「カラスの勝手にしょ」と唄い、当時PTAだった母親はしかめっ面しながらも見せてくれたものだ。「カラスの勝手にしょ」、元歌は大正10年野口雨情の作詞による童謡、「七つの子」だ。

♪からす なぜ啼くの〜からすは山に〜(いえ山ではなく教会や近所の樹木等に営巣します。頼む。山に作ってくれ)♪山の古巣へ行って見て御覧〜(これ、危ないから見に行かない方がいいです)。

私の住む登別市柏木町はカラスの子育て環境に余程豊かなのか、連日3羽で教育実習が行われており、この時期は要注意。「傘を差せば頭上から襲われないよ」と聞いたもので、娘には頭を隠すために晴れでも傘を持たせて「傘を差してwithカラス」を教えたつもりが、説明が悪かったか、傘を差すが「傘で刺す」と解釈され?傘を武器に振り回し、ヒッチコックの1シーン出現。もっとも今は笑い話。

そんな迷惑なヤツではあるが、この時期の赤子を守る親ガラスの習性、育児愛が虐待防止を別な形で教えてくれている気がする。その本能・人権(カラス権?)は、きっと人間にも動物にも神が平等に与えてくれたもの。マリアさまも神の子イエスを人の子として産み、守り育てた。それを聖書からではなくカラスの行動から学ぶ私も問題あると思うが、さすが聖書(ノア方舟から最初に放たれた)に登場する鳥だ。

【宝探し】

7月26日の福音マタイ13章44-52のテーマは「隠れている宝」。先の虐待報道を思うにつけ、神から与えられた「子を思う、守る」本能そのものも、現代では一つの「隠れてしまった宝」になってしまったのだろうか。サン・テグジュペリの星の王子様も「大事なものは目に見えないんだよ」と教えてくれる。様々なものと共存する中で、隠れている宝、目に見えない大切なもの、それに気づけるようになりたい。今、コロナとWith、カラスとWith、信仰とWith、いろいろなものと共存する中で、不意に増えた自分の時間を♪自分の勝手にしょ〜とは言わないで宝探しに使わなくちゃと、今ここで「みなさんに聞こえるように」独り言を言う私です。

何より今、健康は信仰と並んで必要なもの。手洗い、消毒、うがい、ソーシャルディスタンスなど、一体いつまで?と先が見えない。しかし教会に集う私たちは、拝領するご聖体を心のワクチンにしながら、信仰と健康を糧に、自分たちのまわりに隠れている宝探し、大事なものの探しを続けていきたいと思います。

# マトトとミンカと銀の印

テレジア・T

教会のことを考えると、優しく楽しく話しかけて下さる方、祈っていて下さる方、皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいになります。ミサの帰りには新鮮な野菜などをいただくこともあります。また、お話をしなくても誰かが祈る姿を見ているだけで心が励まされます。それだけではありません。勤務先の病院では（コロナの感染予防のため今は休みが続いています）、セシリアコーラスの皆さまが月に二回、お茶一杯さえ出ない完全無報酬で二十年以上も歌のボランティアに来て下さっているのです。当たり前なことではありません。お返しなど出来るわけありませんが、私にできることで、小さな小さなお話を書いてみました。では、これから始めます。

昔々、遠い国の小さな町にマトトという男の子と、ミンカという女の子が住んでいました。マトトが兄さんで、ミンカが妹です。この二人は仲が悪くて毎日ケンカばかりしていました。ケンカは大抵こんな風にはじまります。朝ごはんの時にミンカがパンのかごから一切れ取ろうとすると、マトトがさっとそれを横取りしてしまいます。パンは沢山あるのに、ミンカが悔しそうな顔をするのが何だか面白いのです。ミンカはマトトを睨みつけて、仕返しをしようとテーブルの上に乗出してマトトのコップを引っ張りまわす。「やめろよ」とマトトがコップを押さえようとすると、コップはひっくり返って…という具合です。そしてお父さんに「二人ともいい加減にしろ」と怒鳴られてしまうのです。どうして二人がいつも意地悪ばかりし合っているのか、お父さんはお母さんに「おまえのしつけが悪いからだ」と文句を言います。でもお母さんが二人に仲良くするようにいくら言っても聞かせても、ききめはありませんでした。

さて、ある日のことです。お母さんが二人を呼びました。市場にお使いに行っておほしいというのです。マトトもミンカもブツブツ文句を言いましたが、お父さんが怖い顔したので仕方なく家を出ました。

ほこりっぽい道を歩いていくと、男の人、女の人、お金持ち、貧乏人、若い人、年取った人いろいろな人たちがいます。実はこの町ではマトトとミンカのように仲が悪くて嫌い合っている不幸な人が多いのです。しかも自分よりお金持で強い人にはぺこぺこするけれど、貧乏な人や病気の人のことはバカにするのがふつうでした。

そんな人たちがばかりに会うのですから、二人は、「ああ、おもしろくないなあ」と思いながら歩き続け、やがて小さな広場にさしかかった時のことです。上の方から涼しい風が吹いてきました。空を見上げたマトトが「あれ、何だろう」と思わず指さしました。青空に小さく、何か飛んでいるものが見えます。ミンカが「こっち

へ来るよ」と行った時には二人はそれが大きな大きな鷲だということが分かりました。鷲はまっすぐに二人の上に舞い降りて来て、大きな爪でマトトとミンカを掴みました。「鷲づかみ」という言葉がありますが、その通りに右足と左足に二人の子どもを一人ずつしっかり掴み、さあっと舞い上がります。二人は身動きできません。でも鷲の爪は二人の身体を傷つけることは全然ありませんでしたから初めはびっくりした二人も、やがて安心して地上を眺めました。鷲はどんどん飛び続け、いつの間にか二人は鷲に掴まれたまま眠ってしまいました。

二人は静かな林のなかで目を覚ましました。「ここ、どこだろう。大丈夫?」「うん」。二人はお互いの顔を見て、思わずにっこりしました。こんなことは初めてでした。「ここを探検してみよう」マトトとミンカは、いつの間にか手をつないで、林の中を歩いて行きました。林を抜けると、小さな町がありました。二人はいつそうしっかり手をつないで町に入りました。道を歩いている人たちの顔は、マトトとミンカの町の人たちとは違っていました。なんだか楽しそうな人が多いのです。この町の人たちはだれとでも仲良くしようとするし、たとえそれを嫌がる相手がいても気を悪くすることなんかないらしいのです。

やがて一軒の家の庭に一人のおじいさんが立っているのに会いました。マトトは勇気を出して話しかけました。「おじいさん、ぼくたち鷲に運ばれてここに来たんですけど」。おじいさんは「おや、それじゃここに来たらばかりなのだね。座って話をしよう」と二人を家のなかに招き入れました。

二人がおじいさんから教えてもらったのは次のようなことでした。実はこの町にいる人は皆、あの大きな鷲に運ばれて来た人たちなのでした。鷲は神さまのお使いで、下界の町から、一人一人を運んでくるというのです。「じゃあ僕たちはもう元いた町には帰れないのですか?」「お父さんお母さんに会えないの?」二人がきくと、おじいさんは答えます。「もうすぐに、また元の町に鷲が連れていってくれるよ」。そうすると二人は今度は「もうここには来られないのかなあ。こっちの町の方がいいなあ、お母さんたちもこっちに来られたらいいのに」と思いました。おじいさんはニコニコ笑って、「二人とも元の町をこれから良くしていくんだよ。そのために鷲は二人をここまで連れて来たのだから。もう二人は仲良くすることができるようになったら。二人とも鷲の印をもらっているのだよ。左の手首をみてごらん」と言うのです。

二人の左の手首には、細い細い美しい銀の糸が腕輪のようについていました。これは不思議な糸でした。たとえば指をひっかけて糸を切ろうとするとずっと指は輪を通り抜けるのですが、決して糸は切れません。だから誰かが取ろうとしても、また自分ではずそうとしても、手首から外れるということもないのです。二人はやがてまたもと住んでいた町に帰り、それからはずっと仲良しで、親切な子どもになりました。



実は時にはまた意地悪になることもあったのですけれど、そんなときは手首の細い銀の糸にそっと触れると、また優しい気持ちが帰ってくるのです。これでお話は終わりです。書きながら、私は二人がもらった銀の糸のしるしがほんとに羨ましいなあと思いました。そうした

ら、マトトとミンカは笑ってこう言いました。「うらやましがることなんかないよ。銀の糸のしるしよりも、もっとすてきな印をもらっているでしょう」「心のなかの印のことを思い出して、忘れないでね」

## 2020年度第4回運営委員会 議事録

2020年8月2日(土)10:40~11:20

議事録1. は、開催日時は表題のとおりです。議事録3. は出席者名で省略します。

### 3. 報告

#### 3.1 8月、9月の予定

8月	9月
2日(日) 年間第十八主日 ミサ9:30、ミサ後運営委員会	6日(日) 年間第二十三主日 ミサ9:30 ミサ後運営委員会
9日(日) 年間第十九主日 集会祭儀 9:30	敬老の日の祝別
15日(土) 聖母被昇天の祝日 ミサ 10:00	13日(日) 年間第二十四主日 集会祭儀9:30
16日(日) 年間第二十主日、ミサ 9:30	20日(日) 年間第二十五主日 ミサ9:30
23日(日) 年間第二十一主日、集会祭儀9:30、ミニ大掃除	27日(日) 年間第二十六主日 集会祭儀 9:30 ミニ大掃除
30日(日) 年間第二十二主日 集会祭儀 9:30	

3.2 財務報告 2020年7月迄の報告有、現時点では、特に問題なし。

### 4. 議事

- 4.1 7月の主日のミサ・集会祭儀実績について
  - ・3蜜を避けるために新体制のミサ・集会祭儀を6月から実施。その結果
  - ・7/5(日) 22人, 7/12(日) 15人 7/19(日) 22 7/26(日)9人
  - ※土曜日は、7/4. 18人 7/11. 15人 7/18. 14人 7/25.14人
  - 注)6, 7月の実績結果にもとずき、9月迄計画した体制を進める事とした
- 4.2 8/30(日)の集会祭儀について
  - ・ライヤ師室蘭教会献堂130周年記念ミサに出席の為、集会祭儀実施
  - ・担当地区:太平洋
- 4.3 その他
  - ・出産祝い(張さん)・傷病見舞金(佐藤瑞江さん、佐藤和子さん)
  - ・合同墓参:8/9(日)14:00 実施
  - ・土曜日の教会掃除当番:今迄通りの輪番制で対応する
  - ・カルメル修道院のクッキー:病者訪問不可、定期的な活動は、中止の為今年は30個購入
  - ・熊本他の豪雨被災地支援がカリタスから依頼あれば、蓄え金充当

### 5. 司祭の予定

- 5.1 ライヤ師の予定
  - ・8/9(日) 14:00 合同墓参
  - ・8/16(日) 11:30 登別教会 8/21(金) 祈りの集い
  - ・8/25(火) 司祭評議委員会 札幌教区カトリックセンター 13:00
  - ・8/30(日) 10:00 カトリック室蘭教会 130周年記念ミサ
  - ・9/5(土) 追悼ミサ 登別教会 11:30
  - ・9/8(火) 北海道カトリック学園園長会議 札幌教区カトリックセンター
  - ・9/18(金) 北海道カトリック学園理事会 札幌カトリックセンター 1200
  - ・9/19(土) 登別カトリック聖心幼稚園 2020年度運動会 9:30 (雨天変更 9/20(日)9:30)

- 5.2 ミサ・祭儀の予定
 

8/2	ライヤ師	8/9	集会	8/16	ライヤ師	8/23	集会	8/30	集会
9/6	ライヤ師	9/13	集会	9/20	ライヤ師	9/27	集会		

	項目	8月	9月
第1	ミサ	楽山	蘭岳
第2	集会	蘭岳	太平洋
第3	ミサ	太平洋	白鳥
第4	集会	白鳥	楽山
第5	集会	太平洋	